

2022年JCREES スラブ・ユーラシア研究サマースクールプログラム

開催期日：2022年8月25日（木）～26日（金）

会場：北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター4階大会議室（札幌市北区北9条西7丁目）

形式：対面・オンライン併用

プログラム

8月25日（木）

8:50：開会

9:00-10:00：小森宏美（早稲田大学）

「小国と国際秩序—エストニア研究から語れること」

10:15-11:15：大平陽一（天理大学）

「チェコ・アヴァンギャルドのブックデザインにおいて画家トワイアンの占める位置」

11:30-12:30：廣瀬陽子（慶応義塾大学）

「ロシア外交：ハイブリッド戦争を中心に」

14:00-17:15：学生による発表

8月26日（金）

9:00-10:00：溝端佐登史（京都大学名誉教授）

「ロシアの会社は誰のためのものか」

10:15-11:15：浅岡善治（東北大学）

「ソ連史研究と手紙史料」

11:30-12:30：安達大輔（北海道大学）

「近代文学とナショナルな言説の関係の二面性について：ゴーゴリ文学のレッスン」

14:00-16:45：学生による発表

※講義

総花的な講義ではなく、地域、時代、学問分野を限定した講義が行われる。スラブ・ユーラシア研究の魅力・面白さをアピールする講義となる。講義は30分、質疑が30分。

※学生による発表

1人当たり持ち時間30分（発表20分、質疑10分）。

問い合わせ先：ss_office@slav.hokudai.ac.jp（スラブ・ユーラシア研究センター事務サマースクール担当）

※本サマースクールは、JCREESからの支援により、JCREESが主催、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターが共催して開催するものである。一部の学部学生の支援には、同センターの百瀬宏研究奨励基金も使われる。